

＜実務経験のある教員等による授業科目＞

文学部 国際英語学科

科目名	単位数		教員名	授業概要
	共通 教育 科目	専門 教育 科目		
キャリア・プランニングⅠ	2		江口 智子	株式会社マイナビ等において就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、自らの人生を考えながら自己を理解し、社会の基本について学ぶ。また、担当教員の実務経験を踏まえながら、自分らしいキャリアを考えデザインすることの重要性を理解する。
キャリア・プランニングⅣ(1)	2		櫻井 正	インターンシップに向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、採用の条件となりつつあるインターンシップへの参加を目指す
キャリア・プランニングⅣ(2)	2		櫻井 正	実際の就職活動に向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート・面接対策等、実際の就職活動を想定した実践的な授業をおこなう
国際コミュニケーション演習(2)		2	戸田 隆夫	今、国際社会で進む分断や騒乱は、どのようなことが原因で、どのような経緯を経て生じているのか？ これらについて、現在進行形の国際社会情勢を適時題材としながら、地球市民の基本的教養としての「国際社会を知る」ことを目指します。そのために、国際協力に長年関わり、多くの国際会議や国際交渉に関与し、世界各地の開発途上国の政府、人々、メディア等多様なアクターとさまざまななかたちで関わってきた担当教員の実践的な経験値を存分に活かして授業を進めます。
国際文化特講Ⅳ		2	戸田 隆夫	アジア、アフリカ、オセアニアを中心に、グローバル・サウスと呼ばれている地域の社会、文化の多様性、課題と可能性に光を当て、日本とのつながり、未来の人類社会において果たしうる役割について理解を深め、そのうえで、日本とこれらの地域の関係について自分の考えを持てるようになることが本講の目的です。講義では、国際協力に長年関わり、開発途上地域の人々とさまざまななかたちで関わってきた担当教員の経験値を活かすとともに、未来の人類社会を示唆すると思われる最新の動きを題材として活用していきます。
キャリア・イングリッシュⅡ		2	田中 美保子	翻訳家として小説やノンフィクション作品の翻訳に従事している教員の経験を活かし、翻訳実習を中心とした演習を行なう。翻訳を分析する方法論について説明する講義も一部行なう。様々な分野・タイプの英文を扱いつつ、辞書類の引き方・活用方法も実習する。クラス全体でのディスカッション、個別の意見発表、グループワーク(自他の訳文についてグループに分かれてディスカッションし、各グループの意見をまとめて発表する形式)など、課題によりおりまぜて授業を進めるので、意欲ある履修者の積極的な参加が望まれる。
児童英語指導法		2	佐藤 翔馬	高等学校において、英語科教諭に従事していた経験を活かして、児童に英語を指導する上で必要な知識や指導法を教授します。また、指導案の作成方法を学び、自ら作成した指導案をもとに模擬授業を行います。
小 計	6	8		
合 計	14			

＜実務経験のある教員等による授業科目＞

文学部 史学科

科目名	単位数		教員名	授業概要
	共通 教育 科目	専門 教育 科目		
キャリア・プランニングⅠ	2		江口 智子	株式会社マイナビ等において就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、自らの人生を考えながら自己を理解し、社会の基本について学ぶ。また、担当教員の実務経験を踏まえながら、自分らしいキャリアを考えデザインすることの重要性を理解する。
キャリア・プランニングⅣ(1)	2		櫻井 正	インターンシップに向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、採用の条件となりつつあるインターンシップへの参加を目指す
キャリア・プランニングⅣ(2)	2		櫻井 正	実際の就職活動に向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート・面接対策等、実際の就職活動を想定した実践的な授業をおこなう
博物館概論		2	堀部 猛	博物館学芸員としての実務経験を活かして、博物館の歴史、博物館の役割と理念、博物館法、現代社会における博物館のあり方など、博物館に関する基礎的知識について地域博物館の実例を通して解説する。
博物館経営論		2	堀部 猛	博物館学芸員及び管理職としての実務経験に基づき、博物館の適切な管理運営について講義する。博物館経営の意義、博物館の使命と評価、様々な博物館経営の基盤、社会連携などの現状と課題について解説する。
博物館資料論		2	堀部 猛	博物館学芸員としての実務経験を活かして、博物館資料の概念や意義を講義する。資料をめぐる地域社会と博物館の実態に即して、資料の受け入れから登録、整理、収蔵、調査研究とその成果の活用について実践的に解説する。
博物館資料保存論		2	堀部 猛	国宝・重要文化財等公開承認施設における学芸業務の実務経験を活かして、良好な収蔵・展示環境の維持と資料保存の基礎力を養う。資料の保存環境と具体策について、温湿度・照明・空気環境の諸条件、生物被害、防災・減災等に分けて講義する。
博物館展示論		2	堀部 猛	博物館学芸員としての実務経験を踏まえ、展示の理念と実践について講義する。展示の歴史、展示の役割と資料保存、展示の理念、展示の企画と実践の4部構成で、人文系博物館の実例をもとに解説する。
博物館教育論		2	堀部 猛	博物館学芸員としての実務経験を活かして、博物館教育の目的や意義、博物館がもつ教育資源と教育方法について講義する。様々な博物館教育の実践例を通して、博物館教育の企画立案、学校教育との連携などについて学ぶ。
博物館情報・メディア論		2	新 和宏	千葉県科学館、千葉の県立博物館4館、国立歴史民俗博物館において、博物館経営及び博物館の全事業領域に従事している経験と知見を活かして、博物館の情報をいかに発信していくか、発信する際の留意点等について講義する。
博物館実習		4	堀部 猛	学芸員として館務実習従事の実験を活かして、学内実習、館務実習、学外実習を行う。資料取扱いの心得と実技、資料台帳の作成、資料の調書と梱包、展示の企画・設計を行い、博物館学芸員としての実践的能力を養う。
小 計	6	18		
合 計	24			

＜実務経験のある教員等による授業科目＞

文学部 心理学科

科目名	単位数		教員名	授業概要
	共通 教育 科目	専門 教育 科目		
キャリア・プランニングⅠ	2		江口 智子	株式会社マイナビ等において就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、自らの人生を考えながら自己を理解し、社会の基本について学ぶ。また、担当教員の実務経験を踏まえながら、自分らしいキャリアを考えデザインすることの重要性を理解する。
キャリア・プランニングⅣ(1)	2		櫻井 正	インターンシップに向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、採用の条件となりつつあるインターンシップへの参加を目指す
キャリア・プランニングⅣ(2)	2		櫻井 正	実際の就職活動に向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート・面接対策等、実際の就職活動を想定した実践的な授業をおこなう
心理演習		4	佐藤 哲康	医療機関・福祉施設・教育機関等での心理専門職としての心理支援に関する実務経験をもとに具体的場面を設定した演習を実施する。 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握、支援計画を作成する。 心理に関する支援を要する者等の現実生活を視野に入れたチームアプローチを学習する。 心理に関する支援に関する多職種連携及び地域連携について理解し説明する。 公認心理師としての職業倫理及び法的義務を理解し説明する。 なお、本授業は実務的教育を行う心理学科の授業に指定されている。
心理演習		4	松岡 靖子	心理支援に関する実務経験をもとに具体的場面を設定した演習を実施し、公認心理師として必要とされる知識及び技能の基盤を身につける。n公認心理師としての職業倫理及び法的義務を理解する。
心理的アセスメント		2	平間 さゆり	精神科・心療内科の医療現場や犯罪における精神鑑定において心理検査を実施している実務経験を活かし、各心理検査の実施方法及び解釈法などについて講義する。各心理検査を実施することにより、検査で何を見ることができるのかについて経験する。また、心理検査がどのように心理臨床の場面で活用されているかについて学ぶことを目的とする。
発達心理学		2	松岡 靖子	生涯発達心理学の視点から、人間の誕生前後から死に至るまでを対象とし、基本的な理論や発達のメカニズムについて解説していく。またカウンセラーとしての学校現場での実務経験から、現代の子どもたちの問題を取り上げ、心理学的視点を持つことで子どもの発達をどのように支援していくかの理解を促す。
教育・学校心理学		2	松岡 靖子	現代の児童・生徒が直面する問題は複雑化している。この講義では学校という組織の中で起こる問題について、スクールカウンセラーとしての実務経験から具体的に説明し、臨床心理学的視点からどのように児童・生徒の成長や学校組織を支援していくかを考える。
福祉心理学		2	片岡 友香	福祉の対象者は幅広く、イメージを持ちづらい学生もいるかもしれないが、国民の人権の確保と自己実現に繋がっている。一方、福祉分野に心理職が就くことは近年の動きとしてあり、今後活躍の場となることが予想される。本授業では、福祉現場で必要となる知識や心理職としての支援法について学修を行うことに加え、福祉分野の臨床心理士・公認心理師として実務経験で出会った事例に加筆・修正したものを題材として用いることで、学生は現場に近い感覚を得ながら問題解決する能力が身に着くと考える。
障害者・障害児心理学		2	片岡 友香	障害の社会的な位置づけや捉え方やを学んだ上で、学生は、臨床心理士・公認心理師として関わることの多い障害について、概念、定義、支援法、連携先などについてグループでまとめ、発表を行うことで学修を進めていく。それぞれの障害特性が分かることに加え、保健センターや保育所等での実務経験を基にした学習を行うことで他職種連携の方法や心理職としての支援を具体的に理解する。
心理学的支援法		2	富島 大樹	心理学的支援は、対象者の心理的問題、資質、環境についての適切な理解に基づいて行われます。本授業ではこれまでの心理臨床における実務経験に基づき、心理学的支援に必要な基礎知識や態度を体系的に学習していきます。
司法・犯罪心理学		2	平間 さゆり	犯罪という社会的逸脱行為は、生活の延長上で生じる社会事象の一部であることを意識した授業を行う。司法における刑事精神鑑定時において心理検査を実施している実務経験に基づき、犯罪者に行う精神鑑定の役割、及び裁判員裁判制度に必要な知識を得る講義をする。さらに、身近な家事事件についての基礎的な知識を得る授業を行う。
小 計	6	22		
合 計	28			

＜実務経験のある教員等による授業科目＞

文学部 日本文化学科

科目名	単位数		教員名	授業概要
	共通 教育 科目	専門 教育 科目		
キャリア・プランニングⅠ	2		江口 智子	株式会社マイナビ等において就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、自らの人生を考えながら自己を理解し、社会の基本について学ぶ。また、担当教員の実務経験を踏まえながら、自分らしいキャリアを考えデザインすることの重要性を理解する。
キャリア・プランニングⅣ(1)	2		櫻井 正	インターンシップに向けた実践的な内容である マイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、採用の条件となりつつあるインターンシップへの参加を目指す
キャリア・プランニングⅣ(2)	2		櫻井 正	実際の就職活動に向けた実践的な内容である マイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート・面接対策等、実際の就職活動を想定した実践的な授業をおこなう
日本語と文化		2	鈴木 未恵	他者との話し合いを通して自己の文化に気づき、多様な文化を知る。また、異文化理解・異文化コミュニケーションを考え、多文化共生とは何かについて考える。海外で日本語教育・学校教育に従事した経験を活かし、実践的なテーマでのグループディスカッションを目指す。
日本語教授法(初級編)		2	張 明	本授業では、日本語学校で日本語教員として勤務した経験を活かし、初級レベルの日本語教授法に関する基礎知識を解説しながら、授業の流れ・導入例・練習などを考える。教案を作成し、作成した教案をもとに模擬授業を行い、受講生同士で振り返りや反省も行う。
日本語教授法(中上級編)		2	張 明	前期の日本語教授法(初級編)に続き、日本語学校で日本語教員として勤務した経験を活かし、中・上級レベルの日本語教授法や技能別の指導法に関する基礎知識を解説しながら、授業設計を考える。教案を作成し、作成した教案をもとに模擬授業を行い、受講生同士で振り返りや反省も行う。
日本語教育演習 (日本語教育実習を含む)		2	張 明	日本語学校で日本語教員として勤務した経験を活かし、将来日本語教育に携わることを目指す学生に、日本語学校で日本語教育実習を行うことのできる知識並びに実践的な日本語教授法を教え、その力を養う。外国人日本語学習者を対象とした授業を組み立て、模擬授業と教壇実習を行うことにより、実践力を高めていく。さらに振り返りと反省により、課題を見つけて議論し、授業の改善と自己の成長につながる。
日本の美術(1)		2	眞田 尊光	地域博物館の学芸員として絵画・彫刻・工芸品等の美術資料を扱った経験を活かし、日本の美術品や伝統的建築と付随する庭園に関する基礎知識や鑑賞法の習得を、実物作品を取り扱う実習やフィールドワークにもとづいて行う。日本の伝統的な文様や画題等を参考にしたデザイン作成の課題に取り組む。
日本の美術(2)		2	眞田 尊光	地域博物館に学芸員として勤務し、美術工芸品の調査研究・展示を行った経験を活かし、日本の多様な工芸品の特徴を分かりやすく解説するとともに、実物の観察や取り扱いを学ぶ実習も行う。
文化財の保護と修復(1)		2	眞田 尊光	地域博物館での学芸員経験をもとに、日本の文化財保護の理念と実際について、実物資料を用いた実習や大学近隣地域でのフィールドワークを通じて具体例をもとに学習する。
文化財の保護と修復(2)		2	眞田 尊光	地域博物館での学芸員経験をもとに、日本の文化財保護の理念と実際について、実物資料を用いた実習や大学近隣地域でのフィールドワークを通じて具体例をもとに学習する。
日本文化実技Ⅱ(1)(日本舞踊)		1	西川 祐子	十世宗家西川扇藏の長女に生まれ、日本舞踊家として国立劇場主催公演を始めとする舞台に出演する傍ら、多くの弟子を育成している。文化庁主催芸術祭優秀賞などを受賞。これら経験に基づき、以下を目的とした授業を行う 古典舞踊の代表的な作品を実習し、その所作・身体表現の技法を学び、現代にも共通する美しい身のこなしや美意識、時代を超えて普遍的な価値観を実生活に生かす 毎回浴衣を着ることで、和服の自装・他装の技能を習得する
日本文化実技Ⅱ(2)(日本舞踊)		1	西川 祐子	十世宗家西川扇藏の長女に生まれ、日本舞踊家として国立劇場主催公演を始めとする舞台に出演する傍ら、多くの弟子を育成している。文化庁主催芸術祭優秀賞などを受賞。これら経験に基づき、以下を目的とした授業を行う 古典舞踊の代表的な作品を実習し、その所作・身体表現の技法を学び、現代にも共通する美しい身のこなしや美意識、時代を超えて普遍的な価値観を実生活に生かす 毎回浴衣を着ることで、和服の自装・他装の技能を習得する
小 計	6	18		
合 計	24			

＜実務経験のある教員等による授業科目＞

教育学部 幼児教育学科

科目名	単位数		教員名	授業概要
	共通 教育 科目	専門 教育 科目		
キャリア・プランニングⅠ	2		江口 智子	株式会社マイナビ等において就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、自らの人生を考えながら自己を理解し、社会の基本について学ぶ。また、担当教員の実務経験を踏まえながら、自分らしいキャリアを考えデザインすることの重要性を理解する。
キャリア・プランニングⅣ(1)	2		櫻井 正	インターンシップに向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、採用の条件となりつつあるインターンシップへの参加を目指す
キャリア・プランニングⅣ(2)	2		櫻井 正	実際の就職活動に向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート・面接対策等、実際の就職活動を想定した実践的な授業をおこなう
保育の計画と評価		2	山下 佳香	保育内容の充実に資する保育計画及び評価について理解するためディスカッションやグループワークを行う。 全体的な計画と指導計画を作成する意義と方法及び保育の課程について理解する。 指導案を作成し実践やプレゼンテーションする中で保育の計画及び評価について理解し、全体的な計画と指導計画の作成の意義と方法について習得する。 幼稚園や保育所での実務経験を活かし、課題解決型学習をしながら保育の課程(計画・実践・記録・省察・評価・改善)について具体的に学ぶ。
特別支援教育(保育を含む)		2	向野 光	特別支援教育(保育を含む)について理解し、具体的な支援の方法を学ぶ。 障害児施設での保育の経験を活かし、事例を交えて実践的な支援の実践を学ぶ。 津守眞の障害児保育論を元に障害児の保育の基本を学ぶ。
人間関係		2	白石 優子	乳児及び幼児を取り巻く人間関係を巡る現代的課題を理解し、子育て支援への理解を深めるとともに、関係発達論的視点から乳児期から幼児期までの人間関係の発達を理解する。 幼稚園教諭としての実務経験を活かした授業展開を行う。
環境		2	山下 佳香	領域「環境」という視点から人として保育者として大切なことに目を向け、幼稚園・保育所での実務経験を活かした実践的な授業内容からどのようなことが必要なのか具体的に理解する。 実際に自然および人・物と関わる中で、乳幼児期の一つひとつの育ちやプロセスの大切さを感じながら、乳幼児にとって望ましい保育環境について領域「環境」の内容の理解を目指す。 ディスカッション・ディベート、グループワークやプレゼンテーションを行い様々な考え方の視野を広げ保育事情に対して興味関心を高めることを目指す。
保育内容人間関係の指導法		2	白石 優子	領域「人間関係」のねらい及び内容を乳幼児保育の視点を踏まえ理解するとともに、乳幼児の発達や学びの過程を理解する。それらを踏まえて具体的な保育場面を想定し、保育を構想する方法を習得する。幼稚園教諭としての実務経験を活かし、模擬保育時の助言を行う。
保育内容環境の指導法		2	山下 佳香	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』などに示された領域「環境」の内容や、効果的に援助する方法についてICTを利活用した双方向型授業、フィールドワークなど、幼稚園や保育所での実務経験を活かし理解する。 応答的な授業を目的としディスカッションやグループワークなど主体的・対話的な学びを通して子ども理解を深めると共に、領域「環境」に関わる指導案を作成し模擬保育(プレゼンテーション)を実施、課題解決型学習を行いより良い保育実践の検討を行う。
教育相談		2	白石 優子	(1)教育相談の意義とそれに関わる心理学理論について学ぶ (2)教育相談に必要なカウンセリングマインドと技法について学ぶ (3)保護者や周囲と連携して支援を進める在り方について学ぶ 幼稚園教諭・精神科クリニック等での心理職としての経験を活かし、実技を指導する。
子どもの健康と安全		2	山崎 久江	保育園園長の経験を活かし、「子どもの保健」での学習を踏まえた多様で実践的な保健演習に取り組みながら、子どもの健康と安全を守るための知識と技術を習得し、適切な判断のもとより良い援助ができる力を培う。
乳児保育Ⅱ		2	江村 綾野	保育施設での実務経験をふまえた講義と演習によって乳児(3歳未満児)の発達と特性をふまえた援助と関わりについて理解する。環境を通した養護と教育の理解のため、保健的環境やあそびの環境、さらには計画の実践について学ぶ。
子育て支援		2	江村 綾野	保育施設での実務経験をふまえた講義と演習により保育者による子育て支援(保護者支援)の理論と方法を学び、ロールプレイやグループワークによって実践的に身につける。
小 計	6	20		
合 計	26			

＜実務経験のある教員等による授業科目＞

教育学部 児童教育学科

科目名	単位数		教員名	授業概要
	共通 教育 科目	専門 教育 科目		
キャリア・プランニングⅠ	2		江口 智子	株式会社マイナビ等において就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、自らの人生を考えながら自己を理解し、社会の基本について学ぶ。また、担当教員の実務経験を踏まえながら、自分らしいキャリアを考えデザインすることの重要性を理解する。
キャリア・プランニングⅣ(1)	2		櫻井 正	インターンシップに向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、採用の条件となりつつあるインターンシップへの参加を目指す
キャリア・プランニングⅣ(2)	2		櫻井 正	実際の就職活動に向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート・面接対策等、実際の就職活動を想定した実践的な授業をおこなう
学校経営論(学校安全を含む)		2	山口 祐子	実務家教員としての経験を生かし、以下3点に取り組む。 ①公教育の目的と学校におけるその実現について経営的諸観点から検討し理解する。 ②学校・地域連携の意義と課題を多様な事例と共に理解する。 ③近年重要性を増す学校安全について、取り組み事例を踏まえながら理解する。
算数科教育法		2	田中 聡	算数教材の内容と構成について、学習指導要領に基づき、領域ごとに系統的に分析するとともに、各領域の相互の関連について理解を深める。また教材分析を通して、子どもの思考の特徴を探り、実務経験を活かし、模擬授業で検証する。
音楽科教育法		2	奥田 順也	学習指導要領をふまえた音楽科の目的・内容の理解、各領域各分野の教材研究と指導法の習得、学習指導案の作成と模擬授業をとおして実践的な指導力を身に付ける。 小学校の音楽科指導の実務経験を適宜、授業内で事例として取り上げながら授業全体を構成する。
体育科教育法		2	松本 祐介	小学校での授業経験を活かした実践的指導のもと、指導案作成や模擬授業実践と省察等を通して、体育授業の実践的指導力を身に付けるとともに、自らの授業を適切に評価し反省的实践家となることを目的とする。
教育実習演習(事前・事後指導)		1	山口 祐子	小学校での実務経験を生かし、学校種間の連携や、教育実習に臨む姿勢・教材研究・参観の視点等を学ぶ。教育実習に行くために必要な、教職に関して身に付けてきた知識等を、ディスカッションを行いながら整理する。
小 計	6	9		
合 計	15			

＜実務経験のある教員等による授業科目＞

生活創造学部 生活文化学科

科目名	単位数		教員名	授業概要
	共通 教育 科目	専門 教育 科目		
キャリア・プランニングⅠ	2		江口 智子	株式会社マイナビ等において就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、自らの人生を考えながら自己を理解し、社会の基本について学ぶ。また、担当教員の実務経験を踏まえながら、自分らしいキャリアを考えデザインすることの重要性を理解する。
キャリア・プランニングⅣ(1)	2		櫻井 正	インターンシップに向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、採用の条件となりつつあるインターンシップへの参加を目指す
キャリア・プランニングⅣ(2)	2		櫻井 正	実際の就職活動に向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート・面接対策等、実際の就職活動を想定した実践的な授業をおこなう
社会生活入門(1)		2	齋藤 美重子	家庭科教員や企業で働いてきた経験を活かしつつ家政学及び社会学の諸理論によって社会現象を分析し、課題を発見して課題解決と生活の質を高めるため必要な環境・自助・互助・共助・公助について理解する。 金融庁や東京都、Courseraの教育リソースを活用して自分自身のライフデザインを検討する。
社会生活入門(2)		2	齋藤 美重子	家庭科教員や企業で働いてきた経験を活かしつつ、家政学及び社会学の視座に基づき、生活を取り巻く社会現象を分析し理解する。NPO法人APLAでフェアトレードに従事している方やNPO法人もやいで貧困問題に取り組んでいる方とオンラインでつなぎ、実務経験を活かした講義を行う。また、ICTを活用して生活と社会全体のつながりを理解する。
医療秘書実務		2	清田 悟	医療現場に従事している経験を活かし、実践的且つ現場及び医療従事者から求められる医師事務作業補助者として即応能力、実践力の学修に力点を置く。
医療事務総論		2	清田 悟	医療業界が求める医療事務を現場に従事している経験を活かし、実践的内容の教育を行い基礎を学び事例演習で理解を深める。
臨床栄養学		2	朴 善美	臨床栄養学は患者に適切な栄養管理を行うために必要な疾患の病因・病態・食事療法について学ぶ実践的な学問である。そのため、管理栄養士として臨床の現場(病院の栄養科、臨床研究センター)で治療食の献立作成及び栄養食事指導を行った実務経験を活かし、身近な症例をあげて各疾患別の食事療法について学ぶ。各臨床検査の種類と意義を理解し、検査値を読み取る力を養い、各種疾患の食事療法を修得することを目的とする。
臨床栄養学実習		1	朴 善美	治療食(一般治療食・特別治療食)の意義と目的を理解する。病院において給食管理全般の業務(一般治療食および特別治療食の献立作成、食材発注など)を担当した経験を活かし、治療食の献立作成と食事計画、調理について実習を行う。展開献立の作成、治療食の調理方法を身につけることを目的とする。
栄養指導論(1)		2	朴 善美	本科目は、栄養指導の特性や栄養指導にかかわる諸制度を学び、アセスメント、目標設定、計画の立案方法を修得することを目的とする。また、栄養指導に用いるツールの特徴、活用方法、情報の収集、処理能力も身に付ける。患者のニーズに応えるための栄養食事指導のスキルについて身近な症例を挙げるなど病院で管理栄養士として栄養食事指導を行った実務の経験を活かした授業を行う。
栄養指導論(2)		2	朴 善美	当科目は、ライフステージ・ライフスタイル別の特徴を理解した上、各ライフステージ・ライフスタイルに対する栄養指導方法を修得することを目的とする。栄養指導に用いる各種媒体の重要性を理解した上、媒体を制作、各種媒体を活用した栄養指導計画、指導案作成を修得する。栄養食事指導の効果を高める媒体製作・栄養指導計画・指導案作成など病院で管理栄養士として栄養食事指導を行った実務の経験を活かした授業を行う。
栄養指導基礎実習		1	朴 善美	当科目は、栄養指導に必要なスキルを高める技法などを学習する、実践的学問である。病院で管理栄養士として栄養食事指導を行った実務の経験を活かし、エネルギーおよび栄養素の必要量・摂取量の算出、栄養問題に対する栄養指導案・栄養指導用媒体を作成するなどの実習を行う。エネルギーおよび栄養素の必要量・摂取量の計算、糖尿病食品交換表・腎臓病食品交換表の活用方法などを身に付けることを目的とする。
ウェルネス栄養指導実習		1	朴 善美	健康維持・増進を図るために健康な個人および集団を対象に行う栄養指導の重要性を修得する。病院で管理栄養士として栄養食事指導を行った実務の経験を活かし、栄養指導の目的に合わせた模擬栄養指導の実習を行う。栄養指導の目的、対象者に合わせた栄養指導の計画、指導案作成、教材・媒体の作成方法を身につけることを目的とする。プレゼンテーション(模擬栄養指導)、カウンセリング方法を修得する。
医療秘書実務実習演習 (事前・事後指導)		1	清田 悟 佐久間 美穂	実際に勤務している医療機関の経験を活かし、実践的教育を行う。また病院実習を円滑に行うための知識・責任・心構えをもつことを指導する。病院実習に対する目的意識を明確にし、実習後の総括を行う。
医療事務演習		1	清田 悟	民間病院、公立病院、診療所といった機能別医療機関に従事した経験を活かし、実践的内容の教育を行う。診療録及び診療録等の読解、診療報酬明細書(レセプト)の作成方法を学修し一連の流れを指導する。
家庭科教育法Ⅰ		2	齋藤 美重子	よりよい生活の実現にむけて主体的にかかわる生活者の育成を目指すために、生活課題を家庭科でどのように取り上げ、教材化し、カリキュラムを構想していくのかを探究する。 家庭科教員として従事してきた経験を生かし、また東京学芸大学次世代教育研究推進機構や認定NPO法人開発教育研究会(DEAR)等の教育リソースを活用して実践的教育内容を行う。
家庭科教育法Ⅱ		2	齋藤 美重子	中学・高等学校家庭科の目標の理解、授業をつくる基礎的な知識・スキル獲得を求める。 家庭科教員としての実務経験を活かして様々な教育実践例をもとに、家庭科の目標、内容、授業方法について理解を深める。 東京学芸大学次世代教育研究推進機構の教育リソースを活用し、授業構想についての理解を深める。 国際連合、環境省、消費者庁等の教育リソースを援用し、ICTを活用した授業開発を行う。

家庭科教育法Ⅲ		2	齋藤 美重子	中学・高等学校家庭科の学習内容や目標に沿った適切な教材を準備する。 家庭科教員としての実務経験を活かして、東京大学CoREF等の様々な教育実践例をもとに、家庭科の適切な教材について理解を深める。 東京学芸大学次世代教育研究推進機構、NPO法人開発教育研究会等の教育リソースや金融庁等のWebシミュレーション等を援用し、ICTを活用した授業開発を行う。
家庭科教育法Ⅳ		2	齋藤 美重子	生徒の実態を踏まえ授業のめあてを体現する授業構想を立て、その授業展開が他人に伝わる指導案を書く能力を養う。 家庭科教育の意義を認識し、東京大学等の教育リソース等を活用して模擬授業を行い、理論と実践を結び展開方法を学ぶ。 公益財団法人生命保険文化センター、全国銀行協会等のWebシミュレーションやアジア太平洋資料センター教材等を援用し、ICTを活用した授業開発を行う。 家庭科教員としての実務経験を活かして、家庭科教育の課題と展望への理解を深める。
小 計	6	27		
合 計	33			

＜実務経験のある教員等による授業科目＞

生活創造学部 観光文化学科

科目名	単位数		教員名	授業概要
	共通 教育 科目	専門 教育 科目		
キャリア・プランニングⅠ	2		江口 智子	株式会社マイナビ等において就職関連業務に従事している方を講師に招き、職業や就職に向けた基礎的な理解をするとともに、自らの人生を考えながら自己を理解し、社会の基本について学ぶ。また、担当教員の実務経験を踏まえながら、自分らしいキャリアを考えデザインすることの重要性を理解する。
キャリア・プランニングⅣ(1)	2		櫻井 正	インターンシップに向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、採用の条件となりつつあるインターンシップへの参加を目指す
キャリア・プランニングⅣ(2)	2		櫻井 正	実際の就職活動に向けた実践的な内容であるマイナビ等、就職関連業務に従事している方を講師に招き、業界研究をはじめエントリーシート・面接対策等、実際の就職活動を想定した実践的な授業をおこなう
観光文化実践Ⅰ		2	江口 智子	ホスピタリティとは何かについての基礎的な概念を学んだうえで、担当教員のホスピタリティ関連産業での実務経験を活かしながら、ホテルとレストランを題材にし、ホスピタリティの実践が具体的にどのように行われているのか、何が求められるのかについて考察する。プレゼンテーションやディスカッションを通して理解をさらに深めるとともに、ホテルやレストランへの訪問により実践的な学びを行っていく。
観光の情報デザイン(1)		2	江口 智子	観光業界・地域で展開されている広報活動において、すでにICTはひろく活用されていて、ホームページやブログを整備・充実させることなどはもはや当然となった。最近では動画による観光情報の提供、さらにはそのライブ配信に関心が集まってきている。本授業では「散歩動画の制作」を最終目標とし、担当教員の雑誌メディアでの経験を活かし情報発信について受け取り側にささるコンテンツとはなにかを考察しながら、観光をめぐる情報をデザインしていく。
観光の情報デザイン(2)		2	江口 智子	観光業界・地域で展開されている広報活動において、最近では動画による観光情報の提供やそのライブ配信に関心が集まっている。なかでも食農ツーリズムによる地方創生という関心から、SNS上での動画配信が有効な手段として注目されることになっている。本授業では担当教員の雑誌メディアでの経験を活かしながら、食農ツーリズムの拠点として都内のアンテナショップを中心とした散歩動画を制作することを目標に、情報発信について受け取り側にささるコンテンツとはなにかを考察しながら、観光をめぐる情報を企画・デザインしていく。
ホスピタリティ入門		2	植松 大介	担当教員がかつて勤務していた、ホテルでの国賓を迎賓する上での「マナー」や外交上習得しておくべき大使館での「プロトコル(国際儀礼)」を実務的に学ぶ。 知識だけでなく実務・実践的に学び、自ら主体的に「人をもてなす心遣いと所作」を考え実行する知恵を習得する。 (1)おもてなし、マナーへの理解を深めながら、「ホスピタリティとは何か」を考え、その答えを見出して行動に移すことを目指す。 (2)さまざまな事例を見ながら自身の立場に置き換え、ケーススタディとシミュレーションを通して実務感性を養う。
ホテルマネジメント論		2	山田 祐子	本講座は、ホテル旅館をはじめとする宿泊産業を就職先として考えている学生や強い学修意欲を持つ方を歓迎します。授業は、最新の事例を扱いながら進め、担当教員の宿泊産業における実務経験に基づきながらすすめます。実務家によるゲスト講義も予定しています。受講生は、ディカッション、リアクションの提出、小テストの受験、授業外学修としてホテル観察レポートの提出と発表が求められます。
エアライン事業論		2	小山 知子	国内航空会社の客室業務員職の経験を活かし、1機の飛行機を飛ばすために、どのような人々が関わり、お客様を安全に目的地まで届けるのかを説明する。特に国内航空会社グループは、従業員それぞれの専門性を生かしながら、各部署内やグループ企業の連携が必須となっている。そのうえで、ローコストキャリア(LCC)、中堅航空会社(MCC)など、多様化する航空会社の経営や人材管理についての現状と課題を把握していく。 最終的に卒業後の受講生の将来の指針となるよう、航空業界における女性のキャリア形成についても詳しく解説する。
観光事業論		2	山田 祐子	本講座は、観光産業への強い学修意欲を持つ方を歓迎します。授業は、指定のテキストに沿ってすすめながら、講師はホテルをはじめ観光産業での実務経験に基づいた具体的な実例を示しながら解説を行います。その後、ディカッションを行います。
ブライダル事業論		2	山田 祐子	本講座は、ブライダル産業へ就職を希望する学生や強い学修意欲を持つ方を歓迎します。授業は、担当教員のホテルのブライダルにおける実務経験に基づきながらすすめ、実務家によるゲスト講義も予定しています。受講生は、ディスカッション、リアクションの提出、学期末レポート(ブライダルの企画を考える)を提出し発表することが求められます。
小 計	6	16		
合 計	22			